



科学センターからのお知らせ

8月の休館日 2日(月)、10日(火)、16日(月)、23日(月)、30日(月)

かんたん! わくわく工作

幼児から参加できる楽しい工作会を行います!

【ストローアーチェリーを作ろう】

綿棒付きストローをゴムカタパルトで遠くまで飛ばそう。

開催日 8月9日(振休)

時間 ①10:00～ ②11:00～ ③13:00～
④14:00～ ⑤15:00～

定員 各回10人程度(先着順)

料金 1人100円



※申込不要(当日、窓口でチケットをお求めください。)

特別観望会「ペルセウス座流星群を見よう!」

流星のお話を聞いたあと、芝生コーナーに寝転がり、ペルセウス座流星群の観望を行います。

望遠鏡を使った惑星の観望コーナーも設置予定!

日時 8月12日(木) 20:00～22:00

※悪天候の場合、中止になることがあります。

対象 どなたでも(小中学生は保護者同伴)

定員 80人(先着順)

料金 大人300円、高校生250円、小中学生100円、
幼児無料

申込方法 8月1日(日) 9:30より電話またはホームページ
からお申し込みください。

持参物 ご家族ごとにレジャーシート



第6回 あなん星空コラム



ネオワイス彗星(2020年7月17日撮影)

今年も数多くの流れ星が見られることで有名な「ペルセウス座流星群」の季節がやってきました。流れ星の正体は宇宙に散らばる数ミリメートルの塵で、これが地球に突入してくるとき(空気の圧縮によって)ピカッと光ります。この宇宙に散らばる塵は、チューブ状に群がっていることがあり、その中を地球が通過すると、数多くの塵が地球に降り注ぐため、流星群と呼ばれる現象が生じます。この塵の集合体は、写真のような「彗星」が故郷だと考えられています。彗星は通称「汚れた雪だるま」とも言われ、太陽に近づくと本体が溶けだし、このとき雄大な尾っぽが現れることがあります。この尾は彗星から溶けだした塵などからなり、この塵たちが流星群のもとになると考えられています。(今村和義・著)

おもしろ科学実験 プラネタリウム 天体観望会など



科学センター

☎42-1600 <http://ananscience.jp/science/>